

IRの実現に向けて 市長説明動画アンケート 戸塚区 結果

■ 概要

アンケート募集期間： 令和2年7月14日（水）～令和2年8月17日（月）

アンケート回答者数： 82 人

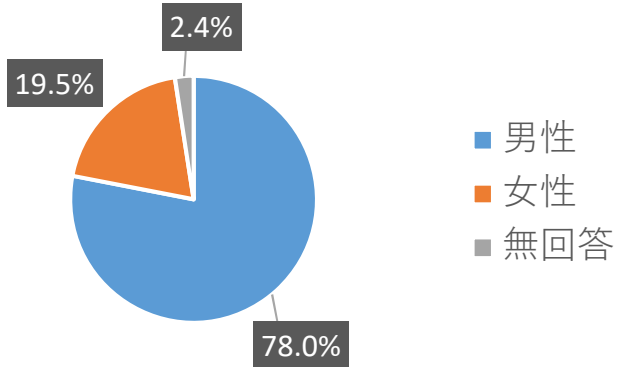
■ アンケート集計結果 戸塚区参加決定者

- 1 あなたのことについてお尋ねします。

性別（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	男性	64	78.0%
2	女性	16	19.5%
なし	無回答	2	2.4%
計		82	100.0%

性別

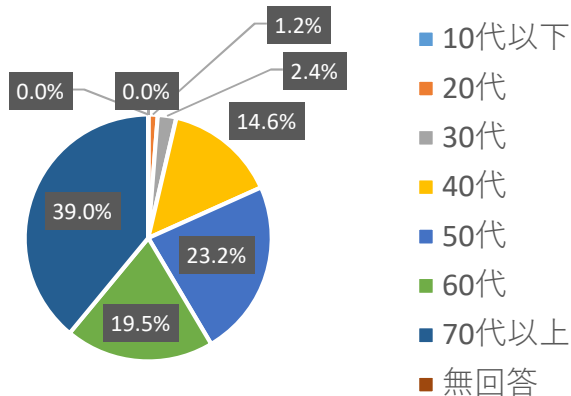


男性 約8割、女性 約2割と
なっています。

年齢（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	10代以下	0	0.0%
2	20代	1	1.2%
3	30代	2	2.4%
4	40代	12	14.6%
5	50代	19	23.2%
6	60代	16	19.5%
7	70代以上	32	39.0%
なし	無回答	0	0.0%
計		82	100.0%

年齢

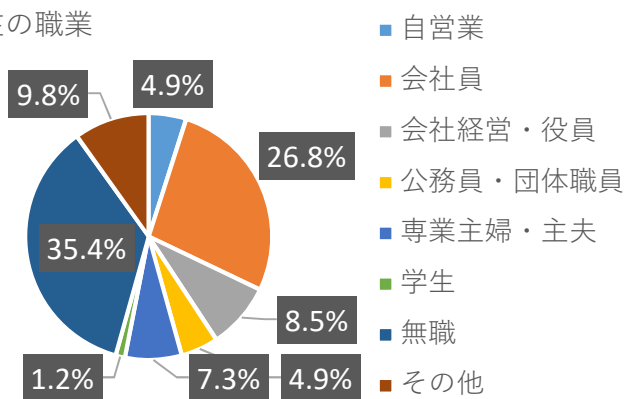


50代以上が約8割を占めています。

現在の職業（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	自営業	4	4.9%
2	会社員	22	26.8%
3	会社経営・役員	7	8.5%
4	公務員・団体職員	4	4.9%
5	専業主婦・主夫	6	7.3%
6	学生	1	1.2%
7	無職	29	35.4%
8	その他	8	9.8%
なし	無回答	1	1.2%
計		82	100.0%

現在の職業

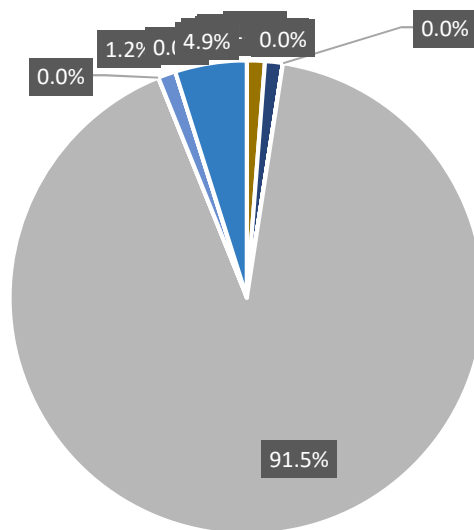


「無職」が最も多く、次いで「会社員」の順となっています。

居住地（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	鶴見区	0	0.0%
2	神奈川区	0	0.0%
3	西区	0	0.0%
4	中区	0	0.0%
5	南区	0	0.0%
6	港南区	0	0.0%
7	保土ヶ谷区	0	0.0%
8	旭区	0	0.0%
9	磯子区	0	0.0%
10	金沢区	1	1.2%
11	港北区	1	1.2%
12	緑区	0	0.0%
13	青葉区	0	0.0%
14	都筑区	0	0.0%
15	戸塚区	75	91.5%
16	栄区	0	0.0%
17	泉区	1	1.2%
18	瀬谷区	0	0.0%
なし	無回答	4	4.9%
計		82	100.0%

居住地



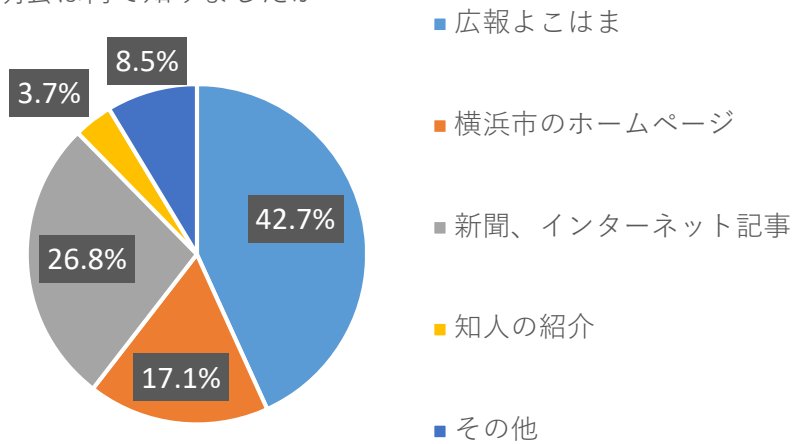
- 鶴見区
- 神奈川区
- 西区
- 中区
- 南区
- 港南区
- 保土ヶ谷区
- 旭区
- 磯子区
- 金沢区
- 港北区
- 緑区
- 青葉区
- 都筑区
- 戸塚区
- 栄区
- 泉区
- 瀬谷区
- 無回答

戸塚区が最も多くなっています。

本説明会は何で知りましたか（〇は1つ）

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	広報よこはま	35	42.7%
2	横浜市のホームページ	14	17.1%
3	新聞、インターネット記事	22	26.8%
4	知人の紹介	3	3.7%
5	その他	7	8.5%
なし	無回答	1	1.2%
計		82	100.0%

本説明会は何で知りましたか



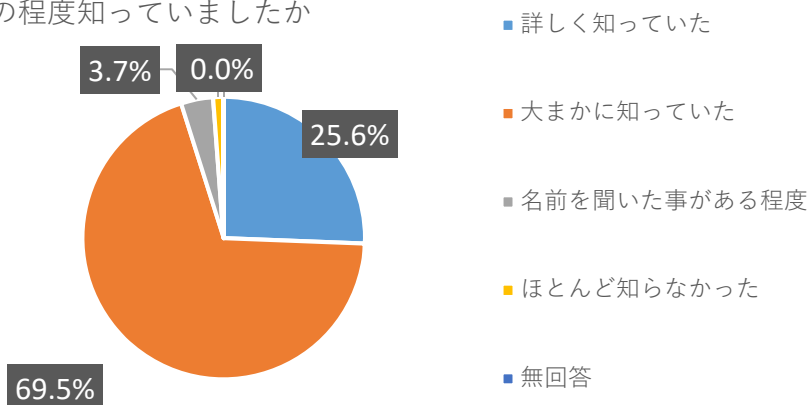
「広報よこはま」からが情報源としてもっとも高く、次いで「新聞、インターネット記事」となっています。

2 IRの認識についてお尋ねします

(1) IR (統合型リゾート) については、どの程度知っていましたか (〇は1つ)

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	詳しく知っていた	21	25.6%
2	大まかに知っていた	57	69.5%
3	名前を聞いた事がある程度	3	3.7%
4	ほとんど知らなかった	1	1.2%
5	無回答	0	0.0%
計		82	100.0%

IR (統合型リゾート) については、
どの程度知っていましたか

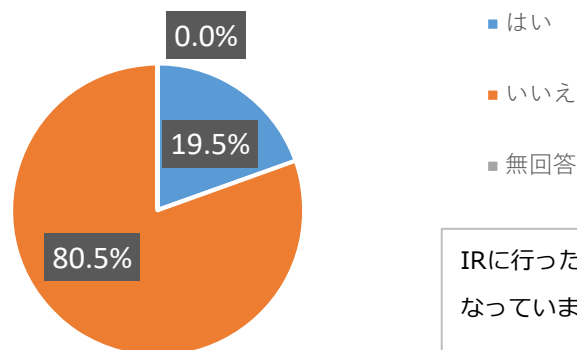


「詳しく知っていた」、「大まかに知っていた」が合わせて9割以上となっています。

(2) IRに行ったことがありましたか (〇は1つ)

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	はい	16	19.5%
2	いいえ	66	80.5%
3	無回答	0	0.0%
計		82	100.0%

IRに行ったことがありましたか



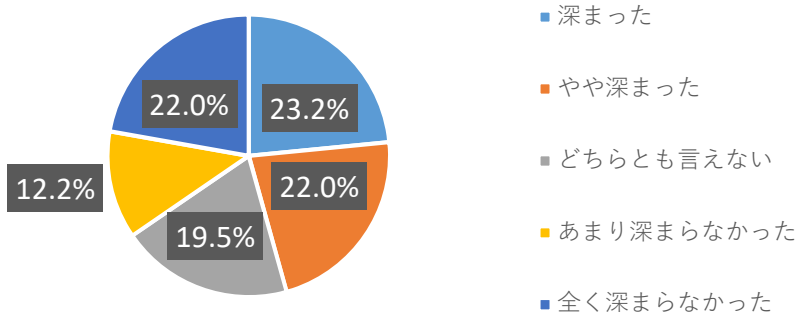
IRに行ったことがある方は約2割となっています。

3 本日の説明を聞いた後の状況についてお尋ねします

(1) 今回の説明会を聞いて、IRへの理解がどのように深まりましたか (○は1つ)

回答番号	項目	回答数	回答の割合
1	深まった	19	23.2%
2	やや深まった	18	22.0%
3	どちらとも言えない	16	19.5%
4	あまり深まらなかった	10	12.2%
5	全く深まらなかった	18	22.0%
なし	無回答	1	1.2%
計		82	100.0%

今回の説明会を聞いて、
IRへの理解がどのように深まりましたか



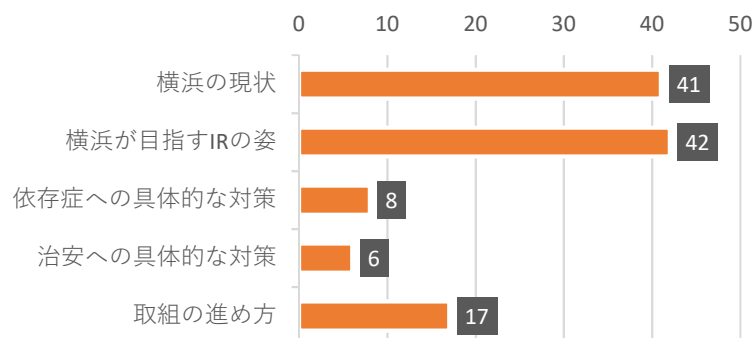
「深まった」、「やや深まった」合わせて約5割となっています。

(2) 理解を深めることができた内容は何ですか (○は3つまで)

有効回答者数： 82

回答番号	項目	回答数
1	横浜の現状	41
2	横浜が目指すIRの姿	42
3	依存症への具体的な対策	8
4	治安への具体的な対策	6
5	取組の進め方	17
6	該当なし	20

理解を深めることができた内容は何ですか



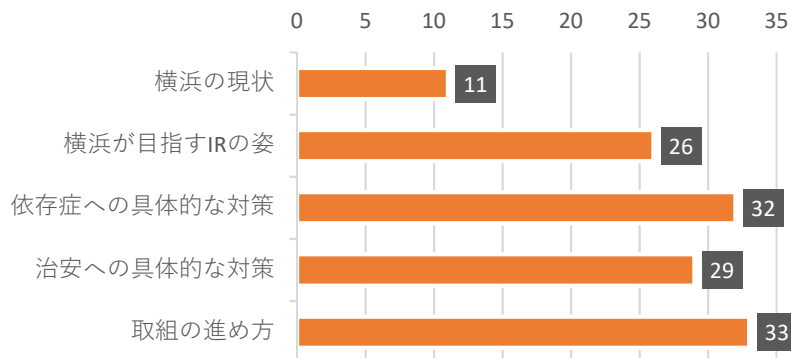
「横浜が目指すIRの姿」、
「横浜の現状」の順となっ
ています。

(3) 分かりづらかった内容は何ですか（〇は3つまで）

有効回答数： 82

回答番号	項目	回答数
1	横浜の現状	11
2	横浜が目指すIRの姿	26
3	依存症への具体的な対策	32
4	治安への具体的な対策	29
5	取組の進め方	33
6	該当なし	16

分かりづらかった内容は何ですか



「取組の進め方」、「依存症への具体的な対策」
「治安への具体的な対策」の順となっています。

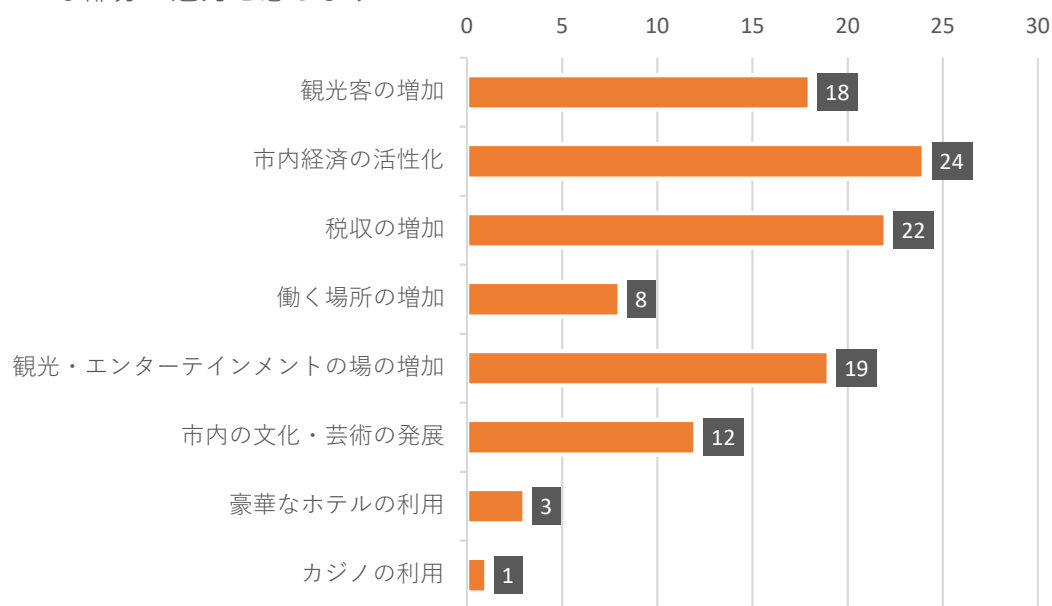
(4) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、
IRはどのような部分に魅力を感じますか（〇は3つまで）

有効回答数： 82

回答番号	項目	回答数
1	観光客の増加	18
2	市内経済の活性化	24
3	税収の増加	22
4	働く場所の増加	8
5	観光・エンターテインメントの場の増加	19
6	市内の文化・芸術の発展	12
7	豪華なホテルの利用	3
8	カジノの利用	1
9	その他	7
10	該当なし	35

※その他 7件の内容については、別紙を参照してください。

あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に魅力を感じますか



「市内経済の活性化」、「税収の増加」、「観光・エンターテインメントの場の増加」の順となっています。

3- (4) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に魅力を感じますか。

9 その他

魅力は感じません。

大反対です。いいことは見当たりません。

魅力を感じない。抵抗を感じる。

カジノありきのIRに賛同している人を知りません

カジノ抜きで統合リゾート型施設にしてください。

カジノダメ 他の展示場等に切り替えする

周りの人々は全員カジノに反対している

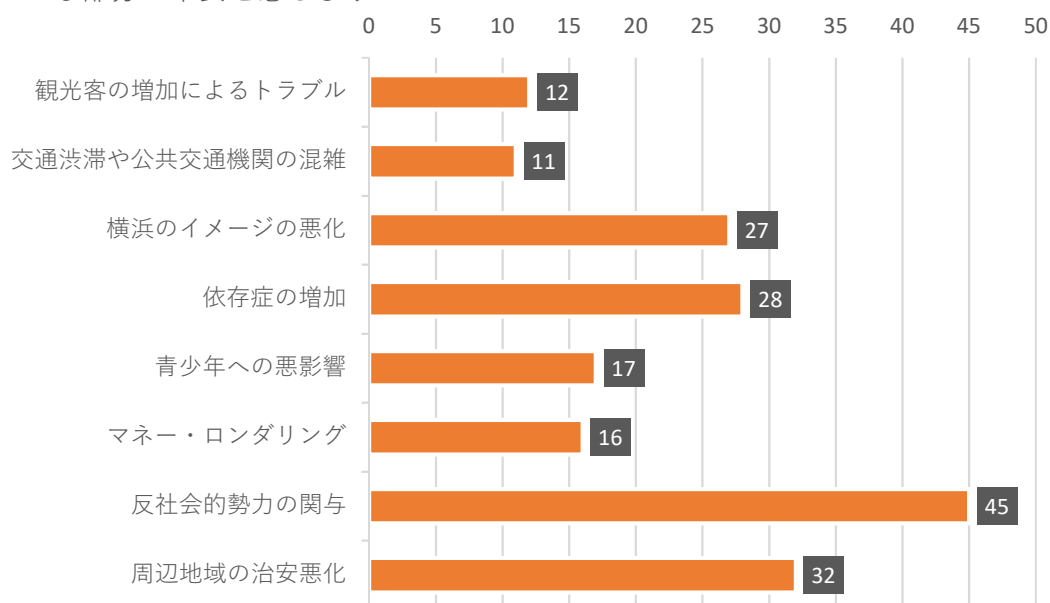
(5) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、
IRはどのような部分に不安を感じますか（〇は3つまで）

有効回答数： 82

回答番号	項目	回答数
1	観光客の増加によるトラブル	12
2	交通渋滞や公共交通機関の混雑	11
3	横浜のイメージの悪化	27
4	依存症の増加	28
5	青少年への悪影響	17
6	マナー・ロンダリング	16
7	反社会的勢力の関与	45
8	周辺地域の治安悪化	32
9	その他	12
10	該当なし	6

※その他 12件の内容については、別紙を参照してください。

あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に不安を感じますか



「反社会的勢力の関与」、「周辺地域の治安悪化」、「依存症の増加」の順となっています。

3- (5) あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、IRはどのような部分に不安を感じますか	9 その他
そもそもギャンブルによって市の財政を潤わせるという方向性に倫理的に問題がある。	
賭博による国民経済の棄損、カジノや不動産開発の許認可に絡む贈収賄の発生	
新型感染症拡大への対策	
魅力は何もない	
横浜市自体がギャンブル依存症となる	
横浜経済の荒廃と横浜市の財政悪化	
上記（回答番号1～8）全部と、失敗したら市税は還されるのか	
巻き上げた不浄な金を血税と混ぜてほしくない。	
感染症、特にコロナウイルスについて、感染拡大の中でこのような施設は一番危険です。	
自然災害、感染症拡大のような、これまでの想定外への対応と経済の破綻への不安	
カジノの集客見込みデータが非公開なため信用できない。	
全て 何故3つまでなのか！！	

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

将来財政が逼迫することは理解できたが、対策として顧客の損失を前提にするギャンブルを当てにするのは不合理。現行のパチンコ等依存症者の対策も不十分なのに更に状況が悪化する。ギャンブル抜きIRを再考するべきで、また経済効果の目論見はコロナ以前のままで状況は変わったので一旦白紙にするべきだ。

市長の意見を聴いたが、今までの発言の繰り返しで、前向きの内容を感じることができなかった。カジノの占める地域はIRの3%と強調し、影響が少ないイメージを与えようとしているが、カジノが収益の大部分を占めることに触れていない。カジノが刑法では賭博罪に当たるということもふれず、横浜の経済を救うのは、カジノ付きIRしかないように誘導させる説明である。コロナが3密で、カジノはその典型の産業という想像力もなく、推進しようとする姿勢には、反対する。今回、カジノなしのIR案が出されているのに、それを無視していることも問題。一方通行での配信でなく、他の12区と同じように双方向の集会を持つべきである

世界各地のカジノで依存症患者の増加が深刻化した事例を学んだ港湾関係者の反対姿勢を覆さない限り、山下ふ頭の再開発に着手できないのではないかと。横浜市がいくらこういう対策を講じますと言っても、専門家からの説得力のある賛同が得られない限り、市民も含めて納得を得るのは難しいのではと思う。市及び国が考えている対策でちゃんと効果があるという専門的見地からのお墨付きを得る努力をしてほしい。今のままではお互いに自分の考え、観念の正しさを主張しあうだけで歩み寄るきっかけが見いだせないのではないかと。

※このアンケートはGoogle Chromeでは入力できず、Microsoft Edgeに切り替えてできました。特定のブラウザでしかできないことを事前に公表しておいてください。

ビデオでは、市長の説明が冗長すぎて聞きざわりである。的を絞った説明を求める。市民が一番不安に感じている、依存症の発生危惧や治安悪化などに対する適切で具体的な安心できる説明が不足している。

私はパチンコ店関係者ですが、そもそも、パチンコは「ギャンブル」ではないはず。同義で捉えられがちですが、風営法に定められた「遊技」です。本質は誰しもが知るところですが、同義で説明しているのは抗議します。我々パチンコ業も色々な諸問題を抱えながら歩んできましたが、パチンコ＝ギャンブル＝悪という図式が完全に出来上がっており、自治体の説明映像にまで一般論と同調するような説明は納得出来ません。修正を願いたい。

今後市の税収が減るとか言うが、それは別に横浜市に限ったことではなく、根本的な原因は、全国的な少子高齢化と人口減少でしょう。

ならば対策としては、カジノで税収アップなどではなく、子育て世代の支援を手厚くし、横浜市が人口が増えるように、市民サービスを合理化・充実化して、他県の住民に横浜市に住みたいと思ってもらえるようにするのが、正道ではないのか。

カジノや観光収入アップは円安の今は税収に寄与するかもしれないが、今回のコロナや為替の動向次第ではリスクも大きい。そういう不確実なものに市政の命運を委ねるべきではない。

IRはいいが、横浜にカジノは不要。

直接の説明会を開催せずにビデオと質問用紙だけでは市民の肌感覚は伝わらないと思います。コロナを口実にこのまま計画を押し進めることに反対します。横浜にカジノはいりません。

大変よくわかりました。またIRを応援します。

市政活性化に役立つIR推進を期待しております。

横浜市の財政状況から、IR計画に私は賛成です。横浜はIR候補地として適している。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

この動画を観るまではある程度IRについて賛成でしたが、正直、あまり上手ではない動画プレゼンを観て、上手くいくとは思えなくなりました。エンターテインメントなど所詮日本では夢物語です。(発想が中国的です) せめて囲いで覆った外国人などの観光客専用のカジノだけにしていかがでしょうか。民間に委託すれば地元横浜市民も対象としたがるでしょうが、やはりここは横浜市が信念を持つべきだと思います。(金持ちの外国人観光客や観光客からのみポツタくればよくて、横浜市民からギャンブル依存者をこれ以上だすことはないように) それよりも、瀬谷のテーマパークにIRの予算を費やした方が良いのではと思います。中途半端なIR事業では両方が共倒れとなります。カジノ以外の中途半端なエンターテインメントで、客を呼べるとは正直思えません。瀬谷のテーマパークにシフトした方が賢明です。国に騙されないよう税金を上手く使ってください。

今回の動画を見て、まず「健全なカジノ事業」という表現に矛盾を感じた。ギャンブルを楽しむ人がいることは理解するが、行政がこの言葉を挙げて進めるべきこととは思えない。また、横浜市の現状に関する説明も恣意的に都合良くデータを拾い出しているように思えた。観光客の増加を比較するグラフでは、横浜市と大阪市ではなく、なぜ大阪府のデータを使うのか。法人市民税の少なさを取り上げ、なぜ個人市民税が大阪市の倍以上あることを取り上げないのか、など疑問が残る内容。コロナ禍の状況も踏まえると、今、横浜市がカジノを含むIR事業を進める必要はないと考えます。

市の財政力向上のために、なんとしても推進して下さい。

IR事業は良しとしてもカジノは絶対に反対。
税収入は「法人市民税」大企業の本社誘致に努力すべきだ。

IRの実現に反対します。また、このアンケートで不安を感じる理由が3つまでしか選択できない点が大変不満です。

不測の事態で世界的なIRも大打撃を受けたのに、その不測の事態の財源をIRに頼るとい言葉には多少矛盾を感じました。

パカラ賭博により得られた収益を税(財源)に使うのは恥ずべきことだ。スポーツ選手が苦労したパカラ賭博を認めることを含め、子供達にどう説明するつもりか? 近隣の知人達から、「横浜に行っても魅力的な観光地は余りないね。少しがっかりした。」とよく聞きます。日帰り・宿泊客にかかわらず、もう一度、横浜市として、IRに頼らず、考え直すべきではないでしょうか? 「建築家の方の案」など、カジノ抜き案を考えてほしい。

カジノが赤字(あるいは予想収益未達)の場合のシミュレーションはどうなっているのか?

今般の新型コロナウイルス感染症拡大の経済的影響からも明らかなように、観光による税収に依拠した横浜市の行政は極めて脆弱です。日本は高度成長(見せかけの成長の化粧も剥げ)期を終え、少子高齢化の成熟期に至り、新たな時代に入りました。「入るを量りれ出ざるを制す」と言った、成熟した持続可能な社会を目指すべきだと思います。

カジノ反対です。どのような対策をしても依存症は無くなりません。本人が申告して、カジノに立ち入らない、治療に向かう事はほぼありません。依存症は本人のみならず、特に家族には、金銭的問題や暴力等、大きな悲劇を生みます。

カジノを含まない計画(建築家の方らの構想等)を是非検討して下さい。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

IR汚職での逮捕でわかるように、世界最高水準の規制イコール利権ではない。

コロナ禍の後の世界では、大人数の移動や接触の伴うMICEの必要性を見直すべき。非接触の方向から元に戻るの難しいと考える。

IRは横浜には全く不必要

日本の賭博のイメージとは違い、海外の社交場としてのカジノなので、多くの外国の方に横浜を知ってもらえるいい機会だととらえています。

海外からの観光客ありき、カジノありきのIRではイメージも悪く、収入も予測できないのでは。住民投票による採択も検討頂きたい。

横浜の観光・事業はイコール海（浜）の構図は変わっていない。説明会が残った地域を見ても明らかで、幅広い横浜市の魅力・活用は有効と思えるが、市から方向性を見たことはない。

IR事業に関しては、市の魅力・財政に寄与するべく取り組む以上は期待を裏切らない成果を望みます。前段に新型コロナへの取り組みの説明があったが、市長としての露出度・姿勢を示す場が見えず、真剣度が分からない。同じようなことにならないことを願います。

他に財政改革の方策を見つける努力が足りない。 国←現政権の意向に媚びてどうする?!。IR法は現政権の利権がらみで推進され、さて彼らがいつまで持つのか疑問。財政健全化を詠いギャンブル事業にその解決方法を探るとはなんという愚挙。横浜市民のはしくれとして素朴に問う! 市長及び取り巻きは横浜への愛情をお持ちですか?

IRは古い施策である。研究基地横浜をめざして企業を呼び込む。生化学、医療、植物系の世界的研究センターの創立と関連企業の招聘を実施する。

自分自身のことについていえばギャンブルは相当好きで麻雀、競馬に結構入れ込んできた人生であり、楽しみでもあった。ギャンブルは家族の生活を思い出来るだけ抑えてきたが限界はなく深みにはまることは避けられない。問題の第一は行政、公権力が市民に推奨してよいのかということである。賭博罪があり、社会全体として規制しながら庶民の楽しみ程度を認める程度に抑えるべきだ。第二に財政的に厳しい状況であるとはいえ財政収入を計画的にギャンブルに頼ることはすべきでない。IRはカジノに依存しており、経済的にも不安定、説明に納得できない。カジノ=賭博場開設は開港都市横浜にふさわしくない。財政的に苦しくともカジノ抜きの横浜の未来を追求すべきです。

世界的な新型コロナウイルス拡大はIRカジノのビジネスモデルを成り立たなくした。市長の現状認識を疑う。IRカジノから撤退することを表明すべき。

今ある横浜の魅力を繋げる交通網を見直せ

他県観光客が増え過ぎると横浜市民が市街地へ出づらくなる。市民に優しい開発をしてほしい。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

選挙の時の公約と違うことを選挙民に諮らずに独断で決めようとするに、大きな怒りを感じます。市長は、主権者ではありません。勝手に決めないでほしい。横浜が観光スポットとしての魅力が欠ける根拠とされるデータは、分母と分子を違う調査から取るなど、論理的に破綻したものです。千葉市やさいたま市に行きたい人に比べて、「横浜に行きたい」人がずっと多いことは、肌感覚でも誰でも分かるはず。横浜には魅力が満載です。IRは不要です。

カジノを推進する役所だけが作成した資料は公平ではない。カジノに様々な対策を講じると言うことは、リスクがあるからである。リスクのあるものは持ち込むべきではない。

カジノを誘致したいとの独断を後付け説明しているだけで、財政問題にまじめに取り組んでいるように見えない。

IRが実現すると長期滞在する外国人旅行者・従業員が増えると思うので、不測の事故・病気や感染症にも対応できるように外国人向けの医療機関の整備も併せて行い、外国人が安心してIRを利用できる環境として欲しいと思います。またIRで働く外国人従業員や家族の方の住環境や教育などが劣悪なものとなったり、不当な差別を受けたりしないよう、従業員の方の人権にも配慮して計画を進めて欲しいと思います。

人間の幸せを実現する目的にIR誘致なら基本的に賛成。高齢者邪魔者扱いの風潮に安心や希望は育つか？、医療と介護に愛ある施策を。財政補強が目的とは知恵が矮小である。働き方が変わる時代だ、新・首都圏構想が欲しい。

1. 市民からの質問は当を得ている。

それに対して市長は、ああ言えばこう言う・単なるいい訳か、まともに回答できずのはぐらかしかで到底納得できない。

2. 何かというと国の方針に・・・と逃げる、市長個人の信念で語っていない。官房長官に脅かされているのではないか？

是非 IRを誘致して 横浜を魅力のある都市にしてほしいと願っています。

①海外の例は都合のいいIRの例をひいている。悪いところもあるはず。②IRから規制を受けた人目当ての反社会的勢力が闇でカジノを開く可能性がたかい。取り締まると言っても簡単ではない。③入場者すべての個人について当日どの位勝った負けたかカードに記録して回数ではなく金額で今後一定期間入場制限をするか決めるようにする。

④IRが栄えたとしても、横浜駅付近・みなとみらい等の商店街がすたれるのではないか。

地方自治体が博打の寺銭で市の経営をする事は犯罪と私は考えます

1. 市民の声を聞き置くだけでなく、施策に反映してほしい。

2. 全国の自治体のなかで、横浜市は観光資源面、法人市民税面で劣っているほうではない。これでだめというのであれば全国の自治体の大半は将来消滅することになる。現状の観光資源をカジノなしで再開発して魅力を増すか、現状の法人市民税の微増を前提にした身の丈に合った施策の展開を考えるべきである。

3. 現在の新型コロナが数年後収束しても、また新たな感染症が発生する可能性が大で、観光客が将来増加することはかなり難しい。観光客増を目的にした施策には限界がある。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

国内外からの観光旅行者に飽きられない魅力あるものにし、雇用の確保、税収の確保を図っていただきたい。また、将来を見据えた道路や海路や空路の整備もお願いしたい。現在横浜市には、金沢八景シーパラダイスやズーラシア動物園等のテーマパークや大型ショッピングモールが点在しています。これらと連携して人の流れを作り経済の発展につなげていただきたい。

・IR導入で経済を回復する、国内に収益が還元されるといっていますが、カジノ事業者に利益が持って行かれるのは周知のことだと思います。

・一方、国内観光客を8割と見込んでいますが、市民の懐をカジノにつき込ませ、家族崩壊など貧困と格差を招き、治安の悪化も心配です。

・犯罪率は、導入前と大きな変化が見られないとのグラフでしたが、図が小さくて良く見えないようにしていますが、犯罪率は上がっているのではないですか。

・カジノは良くないという市民の声は7割です。カジノはやめてください。

市民の意見を聞くために、住民投票をやってください。

最初からカジノ施設を併設することには反対なので、それに対する理解も深まらなかった。横浜市というよりは、市長がやりたいたけのような気がしてならない。民意をよく考えれば、過半数の人が反対する現状に迎合していないような気がする。また横浜市はベイエリアに多額の投資や箱物をつくりすぎだ。内陸部にも目を向けて、例えば図書館の建設や、市民プールや体育館を充実させるとか、もっと市民の日常に寄与する施策に目を向けるなど、生活者レベルでの施策を考えてもらいたい。

花博についても多額の投資をするなら、カジノ施設併設の施設は現状、感染症についても拡大中の今、やるべきことではない。それから、市長の給与も高すぎて、首長としては最高ランクだ。それだけの給与を得ているなら、市民の納得することをやるべきだ。そうでない今、給与は公金であればなおさら、返納願いたい。

カジノ以外の方法で市の財政を考えてください。

マイナス面（カジノの集客不足、IRの採算割れ、周辺の無秩序化、港湾景観の悪化等）の対策は述べられておらず巨大投資の将来性が見えない。

税収不足をカジノに頼らず 研究施設やIT関連等の企業誘致を積極的に展開する等の市長としてのヴィジョンが見えない。

違う方法で、市として限られた予算、人材を、活用し取り組んでほしい。

なぜ横浜市なのかわかりませんでした。また、ほんとうに推進したい人が誰なのかもよくわからない。

カジノはダメです。儲かりません。その上治安悪化します。辞めてください。もう住みたい街ではなくなります。展示場やディズニークルーズの発着など他の案を考えて下さい。

①Sin City（罪な都市）とは米国ではラスベガスの俗称。美しかった横浜がカジノのせいで「罪作りの横浜」とよばれてしまうのが許せない。②未成年者が入場できない不浄なカジノを美しい一等地に作るの許せない。③カジノ業者の提案データを開示しないと、営利事業に素人な役所がうたうIR効果は信用できない。④カジノありきで盲目的に計画を進める市長。⑤横浜IRが国に認められなかった場合の策を作成していない市長および市役所職員の甘い姿勢は受け入れられない。確実な市の運営が最優先のはず。⑥カジノの「捕らぬ狸の皮算用」と不浄なカジノとをオープンに議論すべき。

3- (6) その他ご意見があればご記入ください。

横浜市の財政をカジノで、というのはあまりにも安易なのでは。きちんと税金の使い方を考え健全な政策を考えてほしい。

社会情勢（コロナ）の変化にどのように対応するか？市民が望んでいるか（コンサルの報告は作文でないか。30年前のリゾート法も参考にする）

横浜市はSDG s に協賛しています。しかしカジノ計画を進める市の方向性はSDG s とは正反対です。人も社会も常に正しいとは言えませんが、互いに支え合い、信頼し合える健全な民主主義社会を目指すことを心掛けるべきです。市長は初心に戻って市民に目を向けた行政に立ち返って下さい。

コロナ対策はどうなってるのですか？白紙に戻して下さい。

ギャンブル依存症、借金する人が増加する。家庭崩壊、何も良いことはないですよ！目覚めよ市長！！